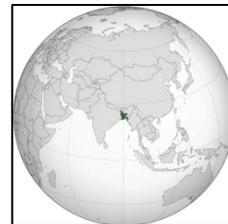


アジア・アウトリーチ 2019年 5月祈禱課題



今月は「バングラデシュ」のためにお祈りください

バングラデシュは、南アジアにあるイスラム教徒主体の国。イギリス連邦加盟国、首都はダッカ。北と東西の三方はインド、南東部はミャンマーと国境を接する。南はインド洋に面する。都市国家を除くと世界で最も人口密度が高い国で、人口数は世界第7位。

バングラデシュの経済・政治・宗教について

バングラデシュは世界で最も貧しい国の一つだ。人口の多さに加え、周期的な洪水や台風といった自然災害が財産や人命を奪っている。貧困は非常に深く根付いており打ち勝つことが難しい。国の収入は農業、繊維業、衣服、麻によって支えられている。外国で働く人の仕送りも大きい。人口の約半分は一日1ドル以下の水準で生活している。

バングラデシュは24年間パキスタンの一部であった。1971年に国内戦争によって多くの痛手を伴ってパキスタンから独立したが、1991年まで非常に不安定だった。軍とイスラムグループはいまだに国家が力を失った時に権力を握るチャンスを狙っている。バングラデシュは世界で最も政治的に腐敗している国の一つである。

1988年にイスラム教が国家の宗教となった。正式には宗教の自由は認められているものの、イスラムの圧力によって宗教的マイノリティーであるキリスト教徒や仏教徒が圧迫されている。現実にはイスラムが最も力をもっている。

バングラデシュのその他の情報

面積:143,998 km² (日本の約 38.2%) 人口:164,425,491(日本の約 1.3 倍 2010年時点)



首都ダッカの様子



バングラデシュの人々



世界遺産 ソーマプリ僧院

宗教:	
イスラム教	89.01%
ヒンズー教	9.10%
キリスト教	0.66%
仏教	0.60%
土着宗教	0.49%
無宗教	0.11%
シーク教	0.02%

詩篇 3:8 「救いは主にあります。あなたの祝福があなたの民の上にありますように。」

祈禱課題

貧困からの救いのために

バングラデシュの経済は非常に遅い速度であるものの改善し続けている。しかし、いまだインフラや交通手段の整備が不十分だ。教育のレベルも低いために、国民は低い賃金の仕事に就かなければならない。温暖化による気候変動も生活を苦しめている。課題が山積しているバングラデシュの経済に、発展と神の祝福が与えられるようにお祈りください。

未伝地域や民族のために

ベンガル人、イスラム人、ヒンズー人のほかに、ウルドゥ語を話すビハリ・イスラム人などが未伝である。これらの民族がイエスの福音に心を開くように。また多くの必要のために働き手が十分に与えられるように。回心者が反対や迫害を押し切ってイエスにとどまることができるようにお祈りください。

福音宣教の祝福のために

バングラデシュの教会は霊的に目覚める必要がある。貧困や識字率の低さと働き人の不足が信仰を生み出す原因となっている。外国の団体が母体となっているので、教会が一致して伝道するのが難しい。また経済的にも多くの教会は十分ではない。このような課題を乗り越えて、バングラデシュの教会がイエスを大胆にあかすことができるようにお祈りください。

また、近年のメディアの発達でラジオやインターネット、衛星放送を用いた福音宣教が多く用いられている。聖書の翻訳もされているが、国はイスラム教徒たちを聖書から守ろうとしている。未伝の部族や町々に翻訳された聖書や文書伝道が用いられるようにお祈りください。